

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 横手工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	質問に対する回答について⑥No.2 用排水管 P (P o - B) ・ φ 0 . 2 0 (S d - B) 及びφ 0 . 3 0 (S d - B) の裏込め材Pは現地発生土と考えるとよろしいでしょうか。違う場合規格をご教示ください。	用排水管P (P o - B) ・ φ D (S d - B) に使用する裏込め材Pは、用排水構造物標準設計図集 208-3 に記載する材料を想定しております。
2	質問に対する回答について⑥No.2 用排水管 P (P o - B) ・ φ 0 . 2 0 (S d - B) 及びφ 0 . 3 0 (S d - B) の基礎材 B は RC-40 と考えてよろしいでしょうか。違う場合規格をご教示ください。	用排水構造物標準設計図集に記載のとおり、記号の (Sd-B) は、パイプの設置条件が半溝形のB型基礎 (120° 砂基礎、有効指示角 90°) を表します。
3	金抜設計書 閲覧資料のサイクルタイムは、一掘進長、掘削機能力 (地山)、吹付け設計厚さ、鏡吹付厚さにおいて設計と相違がある数値を使用して算出されている支保パターンがあります。(CII-b-i (H)-K、DI-b(H)-K、DI-b(H)-M-K) 切羽監視員については、設計通りの数値で算出し直したサイクルタイムを使用し数量を算出していると思われませんが、汚濁水処理工 (運転)、汚濁水処理工 (供用)、フリッカ設備工 (供用) の日数は、相違がある数値を使用したサイクルタイムを基に日数算出していると思われ ます。 上記について、今後日数は修正されるのでしょうか。	トンネル工における単価項目の各設計数量について、正しくは以下のとおりです。 数量明細表：横手トンネル 汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転) A : 277.0 日 汚濁水処理工 (供用) A : 396.0 日 泥土処理工A (Y) : 27.7m3 泥土処理工B (Y) : 249.3m3 薬剤A 2 : 18,348.5kg 薬剤B : 550.4kg 薬剤C 2 : 80733.3kg フリッカ設備工 フリッカ設備工 (供用) : 396.0 日 切羽監視員 : 469.0 人・日 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。

<p style="text-align: center;">4</p>	<p>設計図（11/11）参考図 16/72 横手トンネル工事工程表（4週8休） 割掛対象表参考内訳書</p> <p>上記の質問に関連し、工事工程表は、設計と相違がある数値を使用したサイクルタイムを使用して作成されていると考えられます。また、割掛対象参考内訳書の坑内外仮設備保守費、坑内仮排水設備費、坑内強制排水設備費なども、設計と相違がある数値を使用したサイクルタイムを基に期間を算出していると思われる。</p> <p>工事工程表、割掛対象参考内訳書の月数について、今後修正されるのでしょうか。</p>	<p>トンネル工における割掛対象表参考内訳書の数量内訳について、正しくは以下のとおりです。</p> <p>【共通仮設費】 ロックボルト長さ検査費 ・横手トンネル 12.2 ヶ月</p> <p>【準備工事費】 坑内外仮設備保守費 ・横手トンネル 13.2 ヶ月 坑内仮排水設備費 ・横手トンネル設備期間 14.2 ヶ月 坑内強制排水設備費 ・横手トンネル設備期間 14.2 ヶ月</p> <p>【仮設備工事費】 換気設備費 ・横手トンネル切羽 50m 到達～500m まで 送風機運転 1 台 7.5 ヶ月 給水設備費 ・横手トンネルタービンポンプ 7.5kw- 14.2 ヶ月 ・横手トンネル給水槽 20.0 m³ (設置・撤去) 1 箇所-14.2 ヶ月 工所用電力費 ・横手トンネル-16.3 ヶ月 汚濁水処理施設上屋費 ・大沢トンネル及び横手トンネル 汚濁水処理設備上屋 2 間×6 間- 30.0 ヶ月</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
--------------------------------------	--	---

<p>5</p>	<p>トンネル掘削 大沢トンネル早期閉合区間のトンネル掘削に使用する機械について、閲覧資料のサイクルタイムには「※油圧切削機使用」と記載があり、掘進機能力（地山）28m³/hを使用しています が、割掛対象表参考内訳書に油圧切削機の分解組立費が計上されていません。 早期閉合区間も自由断面トンネル掘削機を使用すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>設計図（参考図）9/72に記載のとおり、早期閉合断面でのトンネル掘削は、油圧切削機（2100kg級）の使用を想定しています。 また、上記施工機械に係る工事用機械分解組立費の計上は以下のとおりです。 割掛対照表参考内訳書 【共通仮設費】 工事用機械分解組立費（トンネル関係） 油圧切削機 2100kg級 1台-1往復- 運搬距離 76.3km(片道) 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
----------	--	--